

本年4月18日にばんえい競馬の主催で実施された新馬能力検査において、私は、騎手として、能力検査馬の顔を蹴るという行為を行い、これを見た方々に大変不快な思いをさせていただきました。

誠に申し訳なく、深く反省し、不快な思いを受けた方々すべてに謝罪いたします。

このときの事情をありのままに説明いたしますと、疲労のために馬が坂道の前で倒れてしまい、何とか能力検査に合格させたいという思いがあり、馬を立ち上がらせ、試験を続行させようと思ったのですが、今となっては浅はかな考えであったと反省しております。

私は、20年以上騎手の仕事を続ける中で、馬と共に生活し、歩んできており、その馬を虐待しようなどと考えたことは決してなく、いかに良い競走馬に育ってくれるかに全力を尽くそうとしていました。

今回、皆様に不快とご心配をかけ、かつ、ばんえい競馬の繁栄にも水を差す結果となってしまったこと、重ねて深く反省し、皆様に謝罪させていただきたく思います。

今後は、改めて動物愛護の精神を守ることに立ち返り、これまでよりもさらにばんえい競馬のために尽力し、最大限の努力をさせていただきたく、6月19日から騎乗の再開をさせていただきたいと考えております。

令和3年6月17日

ばんえい競馬

騎手 鈴木恵介